

☆ AWC事務局便り 1月号 ☆

今年もよろしく願いいたします

松の内を過ぎ、寒さも一段と厳しくなってきました。皆様お変わりなくお過ごしでしょうか？アジアの女性と子どもネットワークは、今年も国内、国際の両方の事業に心を込めて頑張りたいと思います。今年もどうぞよろしく願い申し上げます。

朗読と歌・写真で綴る「あの日のこと」

東日本大震災から、まもなく6年です。大地震と津波が襲来したあの日からの出来事を風化させないために、報道写真家高橋邦典さんの写真映像と、宝塚歌劇団出身のこだま愛さんによる朗読と音楽で、東日本大震災から「今」に至る歩みを振り返ります。日本ハビタット協会主催、AWC協力の事業で、2012年の初演以来大好評の舞台です。

第二部のトークでは、6年を経た現在の課題として「子ども」に焦点をあてます。困難な状況にある子どもたちの支援活動に取り組む講師とマリ代表のトークで、私たちにできることを考えます。

日時：2月4日（土）14：30開演（14：00開場）
会場：YMCAアジア青少年センター「スペースY」
（JR水道橋駅・御茶ノ水駅・東京メトロ神保町駅より徒歩）
入場料：1,000円 全席自由

（入場料の一部は東北の子どもたち支援に活用されます）
朗読と歌：こだま愛
演奏：吉崎叶都子
富成倫子
申し込み：AWC事務局に
メールかFAXで



ガールズサンタ

2017年12月17日土曜日、チェンライ県ムアン郡フエイチョンブー地区のクックノーイスクールにてクリスマス会が開かれました。

この学校は山間部にあり、周辺の道路状況も悪く、市街地に出るには不便な場所にあります。アカ族とラフ族が暮らす地域ですが、ミャンマー籍の子どもを積極的に受け入れています。大半はアカ族です。ミャンマーは最近目覚ましい発展を遂げていますが、未だに地方の少数民族に対する政策は十分ではありません。タイに出稼ぎに来る人も多く、街でゴミ拾いをしたり建設現場や農園などの日雇い労働でなんとか生計をたてています。

クックノーイスクールの寮では、子どもたちは親と離れて山奥で生活しています。この子どもたちを喜ばせようと、「デックランカオ」というチェンライ県メエヤオ地区に住む子どもたちがクリスマス会を開催しました。クリスマス会では、「デックランカオ」のメンバーがリーダーとなり、ゲームや歌で盛り上がり楽しいひと時を過ごしました。言葉の通じない場所で寂しかったり苦しかったりすることもある子どもたちも、この日は笑いの絶えない一日になったようです。



プレゼントは、寮での生活に欠かせないバスタオルや歯ブラシ、石けんなどが50セットを贈りました。このクリスマス会は、横浜女学院の有志の方々の多大なご協力で実施されました。

図書館建設事業

バンメーランカムスクールの図書館は完成間近です。すでに屋根ができ、壁のペンキも塗りました。女子用、男子用のトイレも併設され、床のタイルも完成したと報告を受けています。

1月末には完成のという報告で、子どもたちはとても楽しみにその日を待っているそうです。



書き損じはがき ご寄付のお願い

「おなかいっぱいプロジェクト」では、書き損じはがき2枚で、3食分の給食食材費になります。

ストリートチルドレンの子どもたちがおなかいっぱい食事ができるように、お手元に書き損じはがきや未使用切手がありましたら、AWC事務局までお送りください。